

グローバル・カフェ×ICES「年末交流イベント」を開催しました

ハロウィンイベントでも共催した香川大学異文化交流会（Inter-Cultural Exchange Society（ICES））と共に「年末交流イベント」を開催しました。少しでも多くの学生が参加できるように2023年12月20日（水）の昼休みと、12月22日（金）18時からの二部制で実施しました。両イベントを合わせて、延べ日本人学生17名、留学生17名、教員6名の計40名が参加しました。



12月20日（水）に実施したイベントでは、世界の年末年始の過ごし方や風習に関するトリビアクイズを行って、くじ引きでグループ分けされた参加者が、チーム対抗で競い合いました。問題ごとにポイントを賭け、正解すれば賭けたポイントの分だけ得点に加算される形式としました。「大晦日の夜にサンタが来る国はどこ?」「お正月が3回ある国はどこ?」などの問題に参加者は頭をひねりながら挑戦しました。

12月22日（金）のイベントでは、ICES代表の佐藤さんが司会者となり、「Two Truths and a Lie」ゲームを行いました。自身について真実であることを2つと嘘を1つ発表し、どの発言が嘘であったかを推測するゲームです。通常は個人参加型のゲームですが、留学生と日本人学生が楽しく交流できるように3~4人ずつグループに分かれ、各グループ内で1人嘘をつく人を決め、全員が自己紹介を行ないました。自己紹介が終わった後、グループ内で話し合い、各グループ内の誰が嘘をついていたかを予想し合いました。なかなか嘘を見破るのが難しかったようで、ほぼ全グループが不正解という結果になり会場は笑いにつつまれました。



イベントの最後には、ICESメンバーによる手作りのピニャータ*割りをしました。クリスマスパーティや誕生日会など、人がたくさん集まるお祝い事の際に、中のお菓子が出てくるまで、ピニャータを叩いて割るというメキシコ発祥のゲームです。くじ引きで叩く順番を決め、1人ずつ挑戦しました。参加者の中には野球経験者もあり、豪快なスイングでピニャータが割れ、勢いよく飛び出したお菓子を見て大満足?の様子でした。一方で一か月前から毎日、新聞紙やのりを使ってこつこつとピニャータ作りに励んでいたICESのメンバーたちが、その儚い割れ方に苦笑するシーンも印象的でした。今年最後のイベントとなりましたが、ICESの協力により学生同士の距離がぐっと縮まる素敵なイベントとなりました。



*中にお菓子を入れた紙製のくす玉

次回イベント：1月17日（水）映画イベント「マチルド、翼を広げ（2017,フランス）」



ピニャータを手作りする ICES メンバーたちの様子



ピニャータ割りの様子